

(様式4-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

1. 整備計画										
計画の名称	⑧ “ふじのくに” 「憧れ」をよぶエコパの整備									
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度				交付対象	静岡県				
計画の目標	小笠山総合運動公園エコパスタジアム及び関連設備について、ラグビーW杯2019の開催に必要な施設水準を確保するとともに、スポーツを通じた地域の活性化を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーW杯2019の開催までに更新が必要な老朽化施設について、老朽化対策率を100%にする。 小笠山総合運動公園の年間利用者数を1,013千人（平成26年度実績）から1,100千人に増やす。 									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値	中間目標値	最終目標値		
						(H29当初)	(H 末)	(H31末)		
①	老朽化対策率 (%) ※老朽化対策実施施設数/ラグビーW杯2019の開催までに更新が必要な老朽化施設数					0% (平成28年度末)		100%		
②	小笠山総合運動公園の年間利用者数 (人)					1,013千人 (平成26年度実績)		1,100千人		
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	750 百万円	A	750 百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考
公園		公園施設長寿命化対策支援事業(静岡県)			エコパスタジアム及び関連設備の設備更新			袋井市	750	
事業数										
1										
2. 事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 ー：その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込)										
計画の移行なし	○	1	△		ー		備考	計画の移行あり	●	▲
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		当該事業により、ラグビーW杯開催に必要な老朽施設の更新が完了した。								
II 定量的指標の達成状況	指標①(老朽化対策率(%)) ※老朽化対策実施施設数/ラグビーW杯2019の開催までに更新が必要な老朽化施設数	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	ラグビーW杯開催の影響により、ラグビーW杯関連のイベントや他のスポーツイベントの利用者数が年間目標を上回ったことが実績につながった。					
		最終実績値	100%							
	指標②(小笠山総合運動公園の年間利用者数(人))	最終目標値	1,100千人	目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値	1,335千人							
	指標③()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因						
		最終実績値								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		競技用照明の更新により、ピッチとその周りの明暗差が強くなり臨場感が向上したことで、迫力ある試合観戦が可能になった。ラグビーW杯(予選)では12会場中第3位の観客を動員した。								
4. 今後の方針等										
引き続き、施設の安全性を向上させ、スポーツを通じた地域の活性化を図ることができる公園づくりに取り組んでいく。										

(1) 事業の目的

【公園緑地課】

小笠山総合運動公園エコパスタジアム及び関連設備について、ラグビーワールドカップ2019の開催に必要な施設水準を確保するとともに、スポーツを通じた地域の活性化を図る。

(2) 指標①：老朽化対策率

ラグビーW杯2019までに更新が必要な老朽化施設を対象とした。

(対象施設：中央監視設備 競技用照明 等 5施設)

指標②：小笠山総合運動公園の年間利用者数

小笠山総合運動公園の年間利用者数を対象とした。

指標の達成状況

①令和元年度末の最終実績値は100%であり、目標値を達成した。

②令和元年度末の最終実績値は100%であり、目標値を達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H29当初	R1末最終目標	R1末最終実績	R1末達成率
①老朽化対策率	0%	100%	100%	100%
②小笠山総合運動公園の年間利用者数	1,013千人	1,100千人	1,335千人	100%

指標①老朽化対策実施施設数／ラグビーW杯2019の開催までに更新が必要な老朽化施設数

(3) 指標に関連する実施事例

中央監視設備更新工事



着手前



対策後

中央監視設備の機器を更新
電球から液晶ディスプレイに更新

(4) 定量指標以外の効果発現状況

競技用照明の更新により、ピッチとその周りの明暗差が強くなり臨場感が向上したことで、迫力ある試合観戦が可能になった。

ラグビーW杯(予選)では12会場中第3位の観客を動員した。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、施設の安全性を向上させ、スポーツを通じた地域の活性化を図ることができ
る公園づくりに取り組んでいく。